



星槎大学大学院

共催



地域の物語から考える環境問題

～タイとラオスの環境教育の経験から～

川や森が育む自然資源に根差した暮らしが営まれてきた東南アジアの農村部では、自然にまつわる伝説・昔話・諺などが数多く伝えられてきました。本セミナーでは、筆者が日本の環境NGOのスタッフとして携わった「人びとの物語」プロジェクトの経験から、東北タイやラオスで聞き取った物語を紹介しつつ、現地の児童館や小学校と協力して行った環境教育活動についてお話し、「物語」が持つ力と物語を使った環境教育の可能性を一緒に考えたいと思います。

日時： 2020年5月4日(月・祝) 10時00分～11時00分

開催方法： Zoomを使った自宅受講のみ

*参加申込後に、ZoomのミーティングID、パスワードをお知らせします。パソコン・タブレットがあれば、Zoomのアカウントがなくても受講可能です。

講師： 東 智美

星槎大学大学院 教育学研究科 准教授



メコン・ウォッチ副代表理事。2006年10月～2014年2月まで、環境NGOメコン・ウォッチのラオス・プログラム担当としてラオスに駐在し、森林保全プロジェクトや開発事業のモニタリングを担当。主な著書に『ラオス焼畑民の暮らしと土地政策：「森」と「農地」は分けられるのか』(風響社、2016年)など。

参加費： 無料

参加申し込みはこちら

申込： HPよりお申し込みください。

<https://gred.seisa.ac.jp/seminar/>

TEL:045-212-3830

Mail:info_gr@seisa.ac.jp



星槎大学大学院

通信制 教育学研究科(修士課程)

通学制 教育実践研究科(専門職学位課程)